

スポーツときなん(体育委員会)主催 ドッジボール大会



低学年9チーム・高学年6チーム、教職員1チームが戦いました。



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第15号 —
2021.7.30

- ◎委員会活動が生まれ変わりました。子どもたちが委員会のネーミングを考え、新たな活動を考え、着実にその成果を上げています。学校を元気にしてくれています。がんばれときなんっ子！
- リーダー6 (自作の誕生日カード、かがやき週間)
- ブックときなん (読書週間、出張読み聞かせ)
- ピカピカクリーン (クリーニングパトロール)
- We love ときなんバード (愛鳥週間ポスター、鳥クイズ)
- ときなんチャンネル (自作ビデオ作りの紹介)
- ときなんドクター (ヒヤリハットのビデオ制作)
- スポーツときなん (ドッジボール大会トーナメント戦)

『過去は変えられない。そのうえで生きていかなきゃいけない。できなくなったことではなく、今、岡崎さんはこう振り返る。』

「過去は変えられない。そのうえで生きていかなきゃいけない。できなくなったことではなく、今、岡崎さんはこう振り返る。」

2021. 7. 30

ラルラリラ

2020東京パラ・オリ

校長 都筑 祐一

揺れに揺れた2020東京パラ・オリが1年遅れで開幕した。開催の是非はさておき、この日を目標に練習を積んできたアスリートたちを心から応援したいと思う。

4月。新聞記事で1人の選手を知った。パラリンピック、アーチェリーの代表に選ばれた岡崎愛子さんだ。波乱万丈の人生を克服して、代表に選ばれた。その復活劇に、心から拍手を送りたいと思う。

岡崎さんは16年前、JR宝塚線

「溢れ出す 私自身の可能性」

さて、無限の可能性をもつ常南っ子たち。「ラルラリラ」に何を感じ、どんなことに挑戦していくのだろう。

風が吹けば 歌が流れる

口ずさもう 彼方へ向けて

君の夢よ 叶えと願う

溢れ出す ラルラリラ

私はこの曲を聴くと、なぜか心穏やかに前向きな気持ちになる。

さびの「ラルラリラ」の意味は不明のようだが、私には岡崎さんの言葉と重なって聞こえてくる。

意を決した力強い言葉のなかにも、いったいどれほどの葛藤があったのだろう。

目は見えなくても、たとえ片足、片腕がなくても、泳ぐ、走る、跳ぶ。下半身が動かなくても、ボールを打つ、ボールを追いかける、激しくぶつかり合う。どれ1つとっても私には勝ち目がない。

パラ競技は、人間の能力がいかに無限のものであるかを教えてくれる。そして、気持ちの切り替えて、自分の人生を大きく変えることができるということも。

東京パラ・オリのNHKソングは、『カイト』。個人的に大好きな「嵐」が歌い、ミリオンセラーになった。こんな歌詞がある。